

美しい県土づくり推進委員会 第2回

－ 要 旨 －

■日 時：平成23年10月14日（金） 10:00～12:00

■場 所：山梨県庁本館2階特別会議室

■委 員：（敬称略。50音順。）

《出席》

山梨大学大学院准教授	大山 勲
色彩計画家	加藤 幸枝
山梨大学大学院教授	北村 眞一
東京工業大学名誉教授	中村 良夫

《欠席》

東京大学大学院准教授	小野 良平
国土交通省関東地方整備局建政部計画管理課長	北間 美穂

■事務局

山梨県県土整備部長
山梨県県土整備部技監
山梨県県土整備部県土整備総務課美しい県土づくり推進室室長
同室長補佐
同副主幹

■次第：

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 美しい県土づくりのための取り組みについて
 - (2) 県や市町村、住民、事業者等による取り組みのあり方について
 - (3) 「美しい県土づくり推進大会（仮称）」の開催について
 - (4) その他
4. 閉会

■議事要旨

(1) 美しい県土づくりのための取り組みについて

委員：

資料2「公共事業とその周辺の一体的な景観形成」について。

山梨県の景観の特徴として、景観資源がある区域に大規模に集積しているのではなく県内各地に散在していることが挙げられる。価値あるものは、数的に限られる。

そのような限られた資源に関わっている主体もやはり少ない。1つの資源あたり2、3、または、少数の人たちが携わっているという状況にある。そのため、せっかく景観形成の取り組みが展開していても、その活力が地域全体に行き渡らないという課題がある。

そこで、山梨県においては、何か大規模に取り組みを展開するというよりも、各所に点在する小さな取り組みをネットワークで結ぶことが重要であると考えます。

山梨市の景観計画策定に携わっていたとき、山梨市の景観100選を市民に応募してもらい選定した。このときも資源の周辺に資源になりそうな家屋等が、せいぜい2、3軒立地しているというものが大半であった。

これらの小さな景観と、富士山や八ヶ岳などへの眺めといった大きな景観が混在していることが山梨県の景観の特徴と言える。

委員：

普及啓発について考えるときに、国や県が取り組む大景観と規模の小さい景観とのギャップが大きい。大規模な景観について、その重要性や景観形成の方針を示すことは必要であるが、小さな景観について少人数で取り組んでいる状況を盛り上げていくことも重要である。

そこで、景観施策を示す場合、取り組み状況に応じて適切な施策を示すなど、取り組みを行っている、または行おうとしている主体がその施策を使おうと考えるようなまとめ方が必要だと考える。

委員：

スーパー景観というはっきりした景観について、特定の視点場を明らかにし、そこを整備して終わりという話ではないと感じている。

資料2を見てキーワードだと感じたものは、「場の意味を読む」、「協働の過程を示す」、「持続可能性」などである。

小規模なNPOが景観形成に取り組もうとして、行政に掛け合っても、わずかな予算も付かず、サポートしてくれる職員もいない状況がある。大きな、有名な景観ではなく、無名の小さな景観だが、磨き方によってはスーパーな景観になり得るような景観が沢山ある。

県は、そのような小さな景観を、磨いて良い景観とし、さらに、その取り組み内容を示すことが重要であると考えます。

委員長：

大景観から議論が始まっているが、我々の役割は、市町村やさらに小さい単位で、住

民が景観形成に取り組むためのモチベーションを高める方策を検討することである。モチベーションの導き方として、あまり細かいレベルで行おうとすると、住民の自主性を損ないかねないし、我々もそこまで詳細に地域を理解しているわけでもない。大きな景観を題材に、景観形成のモチベーションをうまく導き出して、個々の住民が自ら景観形成に取り組むような方策が理想である。

参考資料1について、良い景観を得られる視点場は無数にある。そこで、そのように数多い視点場を何らかの意味づけによりまとめることが重要である。視点場の集合体である視点場の「束」をうまくつくる必要がある。その「束」の区域には、歴史的、文化的な意味があり、同時にそこからの眺めも意味がある。そのような視点場の「束」を示すことが重要である。

例えば、甲府の盆地景観に関して①、②、⑤の視点場がある塩山、勝沼辺りの囲まれ感のある小さな盆地は、甲斐の国の原点と言える場所で関連する資源も存在する。そして、そこからの眺めも統一的なイメージがある。

また、③の視点場があるあたり、盆地南部の中央自動車道に沿って東西方向に複数の市町村にまたがって伸びる段丘帯、そのような地理学的なまとまりを設定し、その場の意味づけを考えることが重要である。

④、⑥の甲府駅北側の武田神社あたりも同様に、眺めに統一的なイメージがあるように考えられる。

中央自動車道も視点場が連続する細長い帯と考えられる。

このような、山梨県の景観を認識しやすいように、視点場のまとまり（「束」）、富士山や八ヶ岳等への代表的な景観が生活に取り込まれている場、歴史・文化的に意味のある場を検討することが重要であると考えている。

県の行政単位、過去の行政単位と重なるところもあるかもしれない。

一方、そのような視点場のまとまりから漏れる区域も出てくる。県としてそれらの区域に対する施策を検討するかどうかもある必要はある。結論としては、市町村が景観計画策定時に個々にメリハリを意識して扱えば良いと考える。

それから、プレゼンテーションの方法として、視点場のまとまりからの統一的な眺望景観をイメージしやすいように、数値情報を活用したパース図を作成してほしい。地形的なまとまりとそこからの眺めが分かるようにできるとよい。

地形的な観点からは、背後に山があつて、段丘の縁が連続しているような場が重要であると考えている。このような地形は甲府盆地南側で顕著なのは分かっているが、南アルプス方面はどのような地形構造になっているのか。

委員：

参考資料 p 2 の⑦の視点場のあたりを南北に段丘がある。奥（西）から東に、南アルプス、段丘、扇状地、河川となる。川辺に農地、集落、街道が立地する。

委員長：

八ヶ岳、駒ヶ岳、茅ヶ岳に囲まれる区域は景観のまとまり感（囲まれ感）を感じられるか。八ヶ岳から盆地へ出るあたりはどうか。

委員：

谷の景観という印象である。

委員長：

文化地理学的なまとまりを景観的に大枠で把握することが県の役割と考える。

これまでに検討されていなければ、今回を契機に検討を始め、県内のいくつかの区域や道路、崖線などの帯状の区域を把握できれば良いと考える。このような場のまとまりを示すことで、市町村は景観形成の動機を得られると考える。主だった山岳を望めなくても、地域一帯の意味づけを理解することで、当該地域の景観計画の方向性が見えてくると考える。

場のマネジメントが重要だと考える。ワンポイントの視点場とワンポイントの視対象という捉え方ではスケールが小さくなる恐れがある。

事務局：

貴重なご意見をいただいた。参考資料については、本日いただいたご意見をふまえ内容を詰めて行きたい。

(2) 県や市町村、住民、事業者等による取り組みのあり方について

委員長：

参考資料から多くの情報が読み取れる。歴史文化の側面を合わせれば、先ほどの景観のまとまりを捉えることは可能だと思う。

山梨では、県より小さな行政単位はどのような構成になっているのか。「郡」の領域や、古代の甲斐の国の区分などが、景観のまとまりを検討する上で参考になるかもしれない。

委員：

昔「景域」という用語を使用した。地形がつくるまとまりを出発点として、古代は遺跡の分布、中世は武田ゆかりの歴史資源の分布を重ねていけば、山梨県の特徴が出てくるかもしれない。

委員長：

南アルプスへの良い眺望が得られる場所はどこか。一番良く見ることができるのは甲府あたりか。

委員：

甲府あたりと、南では曾根丘陵、市川大門のあたりが良く望める。

委員：

南アルプスへの眺めを考える場合、一般的には、北岳、間ノ岳、農鳥岳の白根三山が主となる。鳳凰三山は除いたほうが良いと思う。また、甲斐駒ヶ岳は別扱いで検討してはどうかと思う。根拠がはっきりしないが、武田時代の古い街並みは、その街割りにおける山当ての対象が甲斐駒ヶ岳であったようだ。武田神社がある古い街の南側の縁に武田を守る寺社が並んでいる。その通りの軸線の先には甲斐駒ヶ岳が位置する。ちなみに、江戸時代にできた甲府城の城下町は、愛宕山が山当ての対象だったようである。

事務局：

古府中（JR 中央線より北側）においては、甲斐駒ヶ岳が山当ての対象であったようである。道路から甲斐駒ヶ岳を望める所がある。新府中（JR 中央線より南側）は北岳も山当ての対象であったようだ。

委員長：

富士山、八ヶ岳、南アルプスの3つのランドマークがすべて望める地区はどのあたりになるのか。やはり甲府盆地の中心部であろうか。

事務局：

甲府以南、釜無川以東が該当する。釜無川の左岸からは概ね南アルプスを眺めることができる。中央市、昭和町からは3つのランドマークが良く見えるはずである。

（3）「美しい県土づくり推進大会（仮称）」の開催について

委員長：

風景街道の活動状況はどうか。

事務局：

県内には2路線ある。「ぐるり・富士山風景街道」と「八ヶ岳南麓風景街道」である。富士山のほうは活動が停滞している。一方、八ヶ岳南麓の方は毎月1回定期的に会議を行うなど、取り組みが行われている。

委員：

大会の内容案は素晴らしいものとなっている。このまま詰めていってほしい。「周知」に関しては、たくさんのすぐれた団体の取り組みをパネル展示等で紹介できれば良いと考える。説明する団体と来場者が情報交換できるような交流が生まれると理想的である。

県レベルの美しい景観について示すことは有意義であるが、各市町村が抱えている景観に関する課題はおそらくレベルが違おうであろう。大景観から漏れてしまう市町村において、景観形成に向けたモチベーションをいかに上げるかが重要である。

委員長：

予定構成員の主な活動状況事例の取り組み範囲は市町村より小さな範囲か。

事務局：

基本的に市町村単位より小さいものである。例えば「神内川（かのがわ）の古道」は非常に狭い範囲の取り組みである。

委員：

予定構成員の主な活動状況として、現在活動中の事例が挙げられている。県内には以前から様々な活動例がある。そのような先輩格の事例も合わせて表示してはどうか。赤沢宿や、一時期、数十の団体が活動した清里等が挙げられる。

委員長：

河川整備等、公共事業関連でも事例があるのではないか。

委員：

忍野村の新名庄川や信玄堤の公園等での取り組みが挙げられる。御勅使（みだい）川

の整備も事例となる。

委員：

南アルプス南麓では、信玄堤から伸びる水路（用水）があり、その水路が甲府盆地を潤した。そして水路が通る農地は、市街化調整区域でひらけた景観が展開し南アルプスへの眺めも得られる。信玄堤からの水路は用水路の原点であり、歴史的な価値もある。

委員長：

かんがい用水路を含めた広がりのある農地を、まとまりのある景観の1つとして示すこともできそうである。県外の人にも甲府盆地の発展を語る上で分かりやすいまとまりになりそうだ。

委員：

推進大会を今後継続開催することを前提とする場合、県、市町村、市民等の取り組みが繋がっていくことが重要だと考える。そこで、現在までの取り組みに対し、県が景観アドバイザーを派遣してきたことなど、各主体の取り組みのつながりが見えるように表現することが重要である。

委員：

今回は県内の景観形成に関する取り組みの状況を皆で共有することが目的の1つであるから、関連する取り組みをリスト化し、できるだけ多く紹介できれば良いと考えている。最初なのでなるべく広く紹介してはどうかと思う。

次年度から、それらの取り組みの中から代表的なものを深く掘り下げて検討していくという流れにしてはどうか。

事務局：

道路の美化を地域で取り組む事例なども含めれば大変多くの事例がある。このような取り組みも対象とすべきかどうか伺いたい。

委員：

含めたほうが良いと考える。

委員：

紹介の仕方を工夫すれば良いと思う。すべての取り組みについてその内容まで紹介することは難しいであろう。まずはリストアップで良いと思う。

事務局：

今回の資料で示した事例は、大会で紹介するものの参考例であり、これらに限定しているわけではない。当日は、委員から意見をいただいたように、取り組みを広くリストアップするとともに、パネル展示については、参加者を公募するなど、方法を検討していきたい。

委員長：

この委員会の一の目的は、景観形成に関する県民意識を盛り上げる方策を考えることにある。県全体を対象にした大局的なテーマ、県・市町村の施策に関するテーマ、市民活動に関するテーマといったように、推進大会では段階的にテーマ設定を行うことが重要である。

(4) その他

委員長：

推進大会の日程は委員の方々のご都合もあるのでできるだけ早く設定したほうが良い。
私は、1月は20日以降が可能である。2/1は都合が悪い。

委員：

2月は大学の試験、入試等があり、多忙である。

事務局：

次回第3回の委員会の開催日の調整の際に、推進大会の開催日の調整も行うこととする。

他県でも推進大会のような会議は行われている。しかし、なかなか継続しないと聞いている。山梨県において、推進大会を継続させるための留意事項について委員の方々に伺いたい。

委員長：

景観形成の主役はやはり市町村である。市町村でどこまで意識が高まるかがポイントであろう。その意識の高まりの程度は、リーダーの性格、存在によるところが大きいと感じている。景観に関する意識の濃淡が生じるのはやむを得ない。むしろ、意識が高い地域をどんどん支援してあげるという方法で良いと思う。

それから、景観計画はどの自治体も似たような内容となっている。市町村ごと地形も歴史も異なるのだから、市町村がもっとメリハリを付け、取り組むべきポイントを明確にした景観計画を策定すべきであると考えている。

委員：

推進大会で、どこか具体的な区域を定め、その区域の景観について深く考え、実際の事業展開に進んでいけば良いと考える。そのように、県が市町村を巻き込み、事業を最後までサポートするような取り組みができると良い。

以 上